

2026年4月1日
酪農学園大学 広報ブランディング課

酪農学園大学主催シンポジウム
モンタナ州のベア・スペシャリストと考える
野生動物管理の担い手
～育成から社会実装まで～

平素より本学の教育・研究活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

酪農学園大学では、昨今、大きな社会課題となっています「クマの出没問題」に関し、米国モンタナ州で活躍するベア・スペシャリスト、ジャスティーン・ヴァリエール氏をお招きし、その仕事内容や社会での位置付け、それに求められる技能・教育などについてご紹介いただくと共に、北海道における野生動物の管理の担い手育成と社会実装に向けた課題等について議論するシンポジウムを開催いたします。

野生動物管理の問題解決には、必要な知識や技術を持ち、地域に寄り添う担い手の存在が不可欠です。しかし、安定した職は少なく、雇用に必要な財源も少ないのが現状です。

社会問題の解決に向け、その担い手の育成、実装を想定した議論の場として、将来に向けたビジョンを共有いたします。

記

1. 日 時：2026年4月29日（水・祝）15:00～18:00
2. 会 場：酪農学園大学 黒澤記念講堂（北海道江別市文京台緑町 582 番地）
3. 主 催：酪農学園大学
4. 参加費：無料（事前申込制）
5. プログラム概要

<基調講演>

「モンタナ州におけるベア・スペシャリストの仕事とは」（逐次通訳つき）

ジャスティーン・ヴァリエール氏 モンタナ州魚類野生生物公園局ベア・スペシャリスト

<パネルディスカッション>

パネリスト：ヴァリエール氏、酪農学園大学／佐藤 喜和、伊吾田 宏正、伊藤 哲治

モデレーター：酪農学園大学 立木 靖之

本件の周知にご協力くださいますよう、何卒よろしく願いいたします。

【問合せ先】

〒069-8501 江別市文京台緑町 582 番地
酪農学園大学 社会連携課 浜田、花田
電 話：011-388-4131 F A X：011-386-1214
E-mail：rg-ext@rakuno.ac.jp